

## 2-2-4 指導者帰国後の所感

龍神伝説 上江洲 安秀

はじめに文化芸能指導者派遣事業を通して、シカゴ沖縄県人会、チームちむどんどんと共に沖縄の文化芸能の素晴らしさを改めて実感する事が出来た事を、沖縄県庁職員の皆様とそのご関係者様、受入れを快く受けて頂いたシカゴ沖縄県人会様に感謝申し上げます。

初めてシカゴに訪れたのは、昨年3月。

シカゴのエイサーチーム、チームちむどんどの代表八巻みのりさんとの出会いがあり、シカゴに足を踏み入れた。すぐに子供達の演技披露会を行い、これからこの子供達を指導出来る喜びと、その本場のエイサーを教えてくれる！という期待を込めたキラキラする眼差しに応えられる指導が出来るのかという不安が入り混じった中からスタートを切った。たった4日間という短い期間の中で子供達は成長し、その子供達の成長を周りの保護者が感じ、保護者の中でも「琉球芸能をしてみたい」と希望者が現れ、県人会の方々も、あの子供達は沖縄出身ではないが、心の中では「ウチナンチュ」だよねと、希望する保護者にも快く三線など伝授していった。

6月に行われたシカゴジャパンフェスタでは、沖縄をテーマとして物販コーナーや各ステージでもショーを行い、メイン会場では客席とステージ横を埋め尽くす観客で、出演者も感動のプログラムとなった。

11月のウチナンチュの日は、そのジャパンフェスタをきっかけにシカゴ沖縄県人会が中心となり琉球舞踊、三線、空手、エイサー、獅子舞など練習を行い、技術の向上と同時に県人会のメンバーにも故郷の文化を継承するスピリッツが更に熱く燃え上がり、初めてシカゴに訪れた8ヶ月とは顔付きもプロ並みに仕上がった。

ウチナンチュの日inシカゴ、メインプログラムの「結伝」では曲毎にMCを入れず、曲と曲の間にステージ内を展開させるプログラムに仕立て、「結伝」を観て琉球芸能をほぼ堪能出来る内容となり、カチャーシーで会場が一つになった。口々に飛び交う、「沖縄に行こう」「沖縄で会おう」「故郷の芸能をもっと大切にしていこう」文化芸能指導者派遣事業の中で目指す、ウチナンチュとしての心、そしてウチナンチュではないウチナンチュがもつ心が一つになり成功の鍵となった。

また、これから先もずっとシカゴ沖縄の文化芸能が絶えることなく続いていく事と、出会えた縁をキッカケにこれからも同じウチナンチュとして支えていきたい。

## 2-4-1 バンクーバー旅行行程（2月12日～2月25日）

バンクーバーへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

### ■バンクーバー沖縄県友愛会派遣スケジュール

	日付	発地/滞在地	発時間	着時間	スケジュール	
1	2/12 (火)				指導者(亀井、岩崎)バンクーバー入り	
		那覇～成田	12:30	14:55	那覇発、JL6122便にて空路、成田へ	
		成田	18:40		成田発、JL0018便にて空路、バンクーバーへ	
					---日付変更線---	
		バンクーバー		10:35	バンクーバー到着、入国審査～県人会迎え	
		13:30	朝田副会長よりフリーフィング後、ホームステイ先ノースバンクーバーへ向け出発			
				県人会役員及び芸能関係者と打合せ		
		16:00	18:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線		
2	2/13 (水)	バンクーバー	13:30		県人会役員及び芸能関係者と顔合わせ及び打ち合わせ	
				17:30	イベント会場、練習会場、下見	
			19:00	21:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線	
3	2/14 (木)	バンクーバー	15:00		県人会役員及び芸能関係者と打合	
				17:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線	
			19:00	22:00	日系人合同教会にて合同稽古	
4	2/15(金)	バンクーバー	19:00	22:00	県人会宅にて稽古 踊り・三線	
5	2/16 (土)	バンクーバー	11:00	13:00	県人会スタッフとの打合せ	
				17:00	19:00	日系人合同教会にて合同稽古 踊り・三線衣装合わせ
6	2/17(日)	バンクーバー	終日		バンクーバー市内視察	
7	2/18(月)	バンクーバー	20:00	22:00	バンクーバー沖縄太鼓への練習参加	
8	2/19 (火)	バンクーバー	11:00	13:00	県人会スタッフとの打合せ	
				19:00	21:00	日系人合同教会にて合同稽古
9	2/20 (水)				平田コーディネーター、県職員 バンクーバー入り	
		那覇～成田	12:30	14:55	那覇発、JL6122便にて空路、成田へ	
		成田	18:40		成田発、JL0018便にて空路、バンクーバーへ	
					---日付変更線---	
				10:35	バンクーバー到着、入国審査～県人会迎え	
		19:00	21:00	日系文化センターにてリハーサルを兼ねた合同稽古		
10	2/21 (木)	バンクーバー	11:00	13:00	県人会スタッフ打合せ	
				17:00	19:00	日系文化センターにてリハーサルを兼ねた合同稽古 踊り・三線
				19:00	20:00	日系文化センターにてワークショップ
				20:30	22:00	県人会・スタッフとの交流会
11	2/22 (金)	バンクーバー	19:00		日系文化センターにてリハーサルも兼ねた合同稽古	
				21:30	会場セッティング	
12	2/23 (土)	バンクーバー	11:00	14:00	指導者、県担当者会場入り、リハーサル、音響確認等	
				15:00	開場	
				16:00	21:30	主催:バンクーバー沖縄県友愛会
						<b>イベント開催名:2019 NEW YEAR PARTY/新年会</b>
				場所:Nikkei National Museum & Cultural Centre		
13	2/24 (日)				指導者(亀井、岩崎)、平田コーディネーター、県職員帰国	
			10:30	11:30	出国手続、通関手続、搭乗手続	
		バンクーバー	13:10		バンクーバー発、JL0017便にて空路、成田へ向け出発	
					---日付変更線---	
14	2/25 (月)				指導者(亀井、岩崎)、平田コーディネーター、県職員日本着	
		成田		16:30	成田着	
		成田～那覇	19:00	22:25	成田発、JL6119便にて空路、那覇へ向け出発	

## 2-4-2 指導実施概要

### カナダ・ブリティッシュコロンビア州バンクーバー／バンクーバー沖縄県友愛会

#### 1) 実施概要

カナダ、バンクーバー沖縄県友愛会が開催する毎年恒例の行事「新年会」において、世界のウチナーンチュの日を祝うイベントも兼ねた特別企画を催すにあたり、以下のとおり芸能指導者を派遣し、三線演奏の向上と八重山舞踊マミドーマの指導、また次世代対象の琉球ダンスの指導を行い、現地のワークショップ開講やイベントへの出演などを行った。

①亀井美音、岩崎カンナ 派遣期間: 平成31年2月12日(火)～25日(月)

②総合コーディネーター 平田大一 派遣期間: 平成31年2月20日(水)～25日(月)

#### 2) 指導の様子

先に現地入りした亀井美音、岩崎カンナの2人の指導により役割分担をしながら、ホームステイ宅、日系合同教会を会場にほぼ毎日のように三線と舞踊の練習が開かれた。平田コーディネーターが合流後は当日会場の日系文化センターに会場を移し、本番に即した練習に切り替え、また幅広い世代に向けた母県沖縄での文化的取り組みの事例紹介ワークショップも開催し、本事業の動機付けや県人会活動の更なる発展に寄与するアドバイスを行った。

#### ①練習(合計12回実施)

\*ホームステイ宅/4回 (2/12、13、14、15) 4人～5人の小単位での稽古

\*日系合同教会 /3回 (2/14、16、19) 20人～25人の踊りと三線の合同稽古

\*エイサーチーム「バンクーバー沖縄太鼓」の稽古場にて練習視察と合同演舞の打ち合わせ/1回(2/18)

\*日系文化センター/4回(2/20、21、21、22) 30人程の踊りと三線、本番会場を使った場当たりやりハーサルも兼ねた合同稽古及び、平田氏による座学のワークショップ(21日に同会館の別室にて)を開催



キッズ向けの琉球ダンス指導



幕開け舞踊の所作の確認



三線演奏に多くの方が挑戦



八重山の民俗舞踊マミドーマを踊る



衣装合わせをしながら  
子ども達のヤル気も盛り上げます



真剣な表情で琉球舞踊を舞うメンバー

## ②ワークショップの実施

「総合コーディネーター平田大一の沖縄ちむドン文化講座」開催は1回

場所：日系文化センター講座室

日時：2月21日19時～20時／約60分

参加者：子ども達～高齢者の約30人程度が参加。

内容：映像等を使って沖縄で行われている「地域おこし、人財育成」の成功事例を3つ紹介。好評を戴き、新年会当日の昼食の時間にも同様のプレゼンタイムを再度開催。いずれも母県沖縄のアイデンティティや文化に根差したユニーク且つ感動する先行事例として励まされたと多くのコメントを寄せていただいた。



映像を使って分かりやすく活動事例を紹介する



熱心に講話に聞き入る参加者達

## 3) イベント

①イベント名：2019 NEW YEAR PARTY／新年会

②主催者：バンクーバー沖縄県友愛会

③来場者：150名（バンクーバー沖縄県友愛会関係者、近隣の県人会関係者など）

④演舞者：平田大一、亀井美音、岩崎カンナ、バンクーバー沖縄太鼓、バンクーバー沖縄県友愛会37名（合計40名）







初挑戦！マミドーマを笑顔で踊る



指導員「亀井美音」さんの独唱



愛くるしい幼児による演技チキンダンス



幕開けの三線斉唱とかぎやで風



新旧世代による息のあった古典舞踊浜千鳥



ポットラックと呼ばれる一品持ち寄り料理



指導員「岩崎カンナ」さん独演



フィナーレは出演者総出のダイナミック琉球

## 2-4-4 指導者 帰国後の所感

亀井美音

私にとって語学留学以来約3年ぶりにお会いするバンクーバー県人会の皆様は、2月の雪降る厳しい寒さに負けず変わらずとても暖かく迎えて下さいました。到着した日の晩の合同練習は積雪で中止になったものの、ステイ先の近所のメンバーが足を運んでくださり、「早速マミドーマの踊り方を教えてほしい!」と真剣な眼差しで練習に取り組んで下さいました。その後の合同練習日では、私達が練習場に到着した頃にはすでに三線隊が揃っており、私が留学時代に一緒に三線を弾いていたメンバーはもちろん、その後そのメンバーを中心に県人会で三線クラブを開き、さらに新しいメンバーが増えていたことを知り本当に驚き感動しました。

滞在していた約2週間、殆ど毎日練習日を設けておりましたが、学校やお仕事でそれぞれの生活があるにも関わらず、多くの県人の皆様が練習に参加して下さり、笑いが絶えず本当にあつという間でした。また、一日一日ぐんぐん吸収しパワーアップしていく姿に圧倒されることもありました。さらに、歌詞の意味や歌唱法、踊りの意味について、沖縄で育ち芸を学びすっかり馴染み深くなってしまった故に考えたこともないような質問をされることもあり私自身大変勉強になりました。練習を重ねるごとに私達と県人メンバー一団となって稽古に励んだこの2週間はとても有意義で遠く離れた地においても沖縄の文化を通じて一緒に熱くなれることを実感しました。

滞在から十日、演目も形になってきた頃、平田さんと県庁から儀間さん、マッコールさんが現地に到着されました。県人の皆さんも私も気が引き締まり、より一層真剣に取り組んでいきました。その中で、平田さんより沖縄での活動についてのワークショップがありました。小浜の元気なおばあちゃん達のお話や中高生達が演じる歴史の演劇そして黒木の苗100年プロジェクト、どれも面白い内容で小さな沖縄でこんなに色々な世代のウチナンチュが様々な方向で挑戦していることに県人の皆さんも驚き、そして「私達もこんなことやりたいさー」と喜んでいました。

そしてこのワークショップの締めには平田さんから「どこからウチナンチュだろう」というお話がありました。その時私が強く考えさせられたことは、今回の練習の際、県人会会員のみならず、他府県出身の方なども積極的に参加して下さいました。留学時代に知り合った方、今回初めてお会いした方とそれぞれおられました稽古時間が仕事終わりのぎりぎりであっても毎回三線を持ち込み、沖縄の文化に興味を持って参加して下さいるのは同じく文化を愛し芸を学ぶ身としてこの上ない喜びであり、もっと面白い音楽を共有したいという気持ちに駆られました。県人会の練習ということもあり端の方で遠慮がちに座っておられましたが全体手合わせの際、楽しそうにヘーシや三板を鳴らす姿を見た時は間違いなく県人会メンバーと同じように全体からウチナンチュの世界が広がっていました。

今回は演目を仕上げることでいっぱいになってしまいましたが、今後の課題として一層芸を磨いていくことはもちろんですが、海外の皆さんと音楽や踊りを通じて、血筋だけでなく沖縄を愛する皆さんでつくる現地のウチナンチュの輪を、さらに豊かにしていくサポートができたと思います。また、移民から何十年と経ち、4世が誕生する時代に特にカナダのようなマルチカルチャーの移民国では、沖縄のアイデンティティを感じて欲しいと、お子さんと一緒に練習に参加されるご両親もおられました。もう殆ど日本語が分からない、けれどこんなに熱いルーツがあるんだと感じてもらえる手助けもしていきたいと思いました。この派遣によって広がった現地のウチナンチュの輪が、私たちが帰国後も続いていける為に、現地で技術を伝えることとそれ以外では何ができるだろう、ということをとっても考えさせられました。